

# 下郷中だより

◇下郷中学校教育目標◇

「知性」「品格」「健康」

「目標達成にむけてやり抜く力」と

「人を思いやる心と行動」

No. 9 令和元年12月13日(金)

文責 下郷中学校長 小林 稔

## 税に関する作文コンクール 東北地区納税貯蓄組合連合会長賞

白川順姫さん（3年）が、税に関する作文コンクールで、「こらからを担う私達」という題で、東北地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。

（作文の全文）

「この教科書は、これから日本を担う皆さんへの期待を込め、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」私はこの作文を書くにあたって、教科書の裏表紙を改めて見た。一冊一冊にこの言葉が書いてあった。そして0円の金額。ふり返ると当たり前のように何気なく使っていたと思う。「無償」という言葉さえ希薄に感じられていた。義務教育が終わろうとする今、税金について考えてみようと思う。

私は驚きのデータを見つけた。「公立中学校の生徒一人あたりの年間教育費の税金の負担額」なんと、約百万円を超えるというのだ。小学生は一人あたり年間八十八万円。義務教育九年間で、合計八百三十万円の計算になる。教科書ばかりでなく、教育施設の建設、机やいすなどの備品、教材代、いろいろなものに税金が使われていることに気がついた。

では、日本の税金の仕組みはどうなっているのだろうか。私は普段から百円ショップを利用している。確かに品物は百円だが、会計になると百八円になる。百円に対して八円、八パーセントの消費税。と言うことは、私達中学生も間接的とはいえ、税金を支払っていることになる。すなわち既に納税者なのである。例えそれが少しの金額でも、自分が支払った税金が、もしかしたら教科書代に充てられているのかもしれないと考えると、今までよりも教科書を大切に使いたいと思った。令和元年十月から、消費税は十パーセントに引き上げられる。（裏面に続く）



寒さが厳しくなってきました「インフルエンザ」も流行しているようです。

健康に留意して3学期を迎えましょう！

1	元旦	11		21	
2		12		22	生徒会専門委員会・部活反省
3		13	成人の日 県中体連スキー大会	23	職員会議 ノー部
4		14		24	東北スキー大会 職員打合
5		15		25	
6		16		26	↓
7		17	職員打合	27	全校朝会
8	始業式 明けテスト	18		28	3年期末テスト
9	調査書作成委員会 ↓	19		29	↓
10	3年実力テスト	20		30	校内スキー教室 ノー部
				31	職員打合

下郷中学校では学校での活動の様子を随時ホームページでお知らせしています。スマホからも是非ご覧下さい。

下郷町教育ポータルから検索 <https://shimogo.fcs.ed.jp/下郷中学校>

裏面もご覧ください

(続き)しかし、軽減税率制度も設けられ、飲食料品や新聞が対象となる。生活をする上で必須となるものは八パーセントのままだと知り、少し安心することができた。私達は税金の意味と使い道を理解し、これらを受け入れていく必要があると思う。消費税の他に、わたしたちにこれから深く身近になるものの一つに所得税があげられる。これは個人の所得、利益に対してかかる税金で、毎年確定申告して納税する。給料や利益が多くなればなるほど段階的に税率が高くなる方法、累進課税が導入されている税金で、私達が働き出したら、必ず支払わなければならない直接税の一つである。そして、日本の税収の内訳の中でも多くの割合を占めている税金なのだ。いま、人口が減少していく中で、もし働き手までもが減ったとしたら、一番問題視されるのではないかと私は考える。日本の財政を家計に例えてみる。働いていた給料を上手に使わないと、家計は大変になる。それと同じように、国民から集めた税金を大切に上手に使ってもらうことが、私達の願いだ。

義務教育もあとわずか。働き出したら、私達には勤労と納税の義務がある。教科書に書いてあった「日本を担う」大人にならなければならない。だからこそ、税金への理解と関心を高め、税金に感謝し、日本を担う大人になるための努力を、日々していきたいと思う。

## 卓球部 県新人大会ベスト8

12月6日に、猪苗代町総合体育館（カメリーナ）で令和元年度福島県中学校新人卓球大会が行われました。予選リーグを2位で勝ち上がり、決勝トーナメントでも1勝してベスト8になることができました。これからも部員全員でしっかり練習して、来年はさらに上位を目指して頑張って欲しいと思います。



## 校長室の窓

その7 「ある日の学級通信」より

古い書類を整理していたら、20歳代の若い頃に書いた、手書きの学級通信の原稿が出てきました。手前味噌になってしまいますが、ある年は隣のクラスの同じ20歳代のS先生と競争して、学級通信を毎日出して、1年間で240号にもなったことがあります。古い原稿を久しぶりに手にとってみると、手書きの上手でない字が並んでいますが、その時々に伝えたい言葉が書いてありました。

(エピソード 1)

「好きなモノを叫びながら飛び込むと、それでいっぱいになるという魔法の湖がありました。」

ドイツ人は「ビール！」と叫んで飛び込んだ。湖はビールでいっぱいになったそうです。

次の日、フランス人は「ワイン！」と叫んで飛び込んだ。湖はワインでいっぱいになったそうです。

その次の日、日本人は「サケ！」と叫んで飛び込んだ。湖はサケでいっぱいになったそうです。

ある国の人人が、ようやく叫ぶ言葉を決めて決めて走り出したが、小石につまづいてしまって

「クソ！」と叫びながら湖に飛び込んでしまいました……。

生徒の皆さんへ

「悪い言葉を使うと、全部自分にかえってきます。よい言葉を使いましょう」

下郷中学校では学校での活動の様子を随時ホームページでお知らせしています。是非ご覧下さい。  
お陰さまで、閲覧数も増えてきています。

下郷町教育ポータルから検索 <https://shimogo.fcs.ed.jp/> 下郷中学校